

なぜ現在の仕事を目指したか？

メディアの中で働くという意味

一冊の本、ひとつの番組はどのように作られるか

メディアで働くことのやり甲斐とは

メディア・リテラシーとは

現役ジャーナリストと
大学1・2年生の
本音トーク！

女性未来研究所第1回シンポジウム

メディアと女性

発信者として 受信者として

ジャーナリストは仕事とプライベートのバランスをどうとっているの？
現在のメディアのありかたをどう思う？今後のメディアに望むことは何だろうか？
現役で活躍するジャーナリストが、それぞれの立場から見た「メディア」をテーマに大討論します。

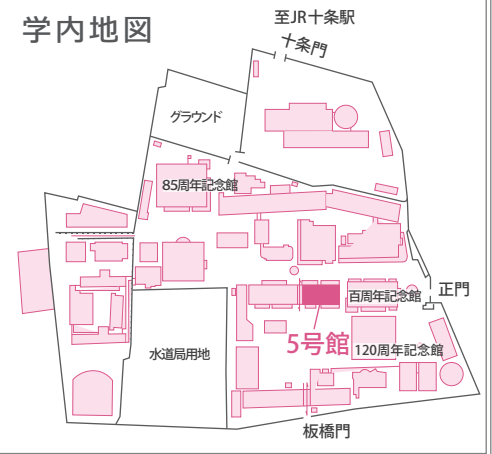
2015年 **12月10日(木)**

15:00~17:00

場所：東京家政大学 板橋キャンパス
第9階段講義室（5号館4階）

定員：280名（申込不要・入場無料）※学内対象

学内地図



登壇者紹介



ラジオディレクター

野本 瑞穂氏

2000年代からテレビ・ラジオの企画、構成を担当。現在は音にこだわった番組に絞り、ラジオ番組を制作。構成、演出、選曲、編集、録音など全般に関わる。NHKラジオ『落合恵子のラジオ・デイズ』担当。



株式会社 集英社
新書編集部 編集主任

金井田 亜希氏

2000年入社。ファッション誌『MORE』『SPUR』を経て、2010年より現職。医療、美術、建築などの分野を多く手がける。現在発売中の落合恵子著『おとなの始末』編集担当。

総合司会



女性未来研究所特任研究員(教授)

落合 恵子

作家。社会的に「声の小さい側の声」を軸に執筆や講演、社会活動を行う。子どもの本専門店クレヨンハウス等を主宰。

東京家政大学女性未来研究所は、建学の精神である「自主自立」の道を歩み、生活信条である「愛情・勤勉・聡明」を実践できる女性を育成するとともに、グローバル時代にふさわしい、女性の社会貢献を探究することを目的として、2014年4月より当大学板橋キャンパスに設置されました。初代所長として樋口恵子名誉教授が就任いたしました。